



『ヒーローチャレンジ 2018』

規則書

第1条 開催目的

本大会は、ドライビングの技術向上及び参加者間の親睦や情報交換の場を共有することでモーター
スポーツ文化の更なる継続を目的に開催されます。

第2条 主催者 / 開催場所

ヒーローしのいサーキット (1.350m)

栃木県宇都宮市篠井町 1804

TEL : 028-669-1031 / FAX : 028-669-1032

第3条 参加資格

- 普通自動車運転免許証所持者。
- サーキットでのルールやマナーを守って走行・観戦ができ、本大会の規則を理解・承諾した者。
- 未成年者の場合、親権者の承諾を得た者。(「未成年者誓約書」に親権者の署名・捺印が必要)
- しのいサーキットをドライ路面でラップタイムが1分5秒(65秒)以内で走行できる者。

第4条 開催日程

	開催日時	申込受付期間
第1戦～春～	4月8日(日)	3月8日(木)～3月23日(金)
第2戦～夏～	7月8日(日)	6月8日(金)～6月22日(金)
第3戦～秋～	10月14日(日)	9月14日(金)～9月28日(金)
特別戦～冬～	12月2日(日)	11月2日(金)～11月16日(金)

- シリーズ3戦は270分(4時間30分) / 特別戦は300分(5時間)の耐久となる。(※予定)
- 受付開始は申込受付日の0:00～となる。※フライングでの申込みは受付初日の最終枠での受付とする。
- レース詳細は大会毎の案内掲示時に発表となる。

第5条 参加申込

■ 受付期間

開催日程に記された申込受付期間内に申し込むこと。

■ 参加料金

<シリーズ戦参加料> 1戦1台:30,000円

■ 募集台数と参加人数

- ・募集台数は先着20台とする。(参加チームの経歴次第では台数が増える場合がある。)
- ・ドライバーは参加車両1台につき2名～8名とする。(ピットクルーの人数制限はない。)
- ・同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

■ 申込方法

- ① 「参加申込書」と「車両申請書」に漏れなく記入の上、受付期間内に直接当サーキット窓口で
申込むか、指定のメールアドレスへ送付してください。 ※FAXでの申込みはできません。

※この時点ではまだ入金を行わないでください。

【 各書類の申込先 】
〒321-2102 栃木県宇都宮市篠井町 1804 ヒーローしのいサーキット
Mail : hero@he-ro.co.jp

② 事務局にて書類を確認した上で、チーム代表者様宛に参加の可否をメールか電話にてお知らせします。参加可能となったチームはその後3日以内に指定の口座へ入金していただくか、直接当サーキット窓口でお支払い下さい。

【 参加費の振込先 】
埼玉県信用金庫 森林公園支店
普通口座 0689491 / 口座名：ヒーローしいサーキット

※振込人名は、代表者名もしくはチーム名とする。※振込手数料は参加者負担となる。

■ 参加受理

全ての手続きが完了した時点で申込みは成立となる。

参加受理は各チームの代表者様へメールか電話にて連絡する。(受理書の発送は無い。)

■ 参加のキャンセル

受付期間内のキャンセルのみ可能。事務手数料 1,000 円を差し引いた金額を振込みにて返金する。

※受付期間を過ぎた後のキャンセルは認めない。決勝は DNS (リタイア) 扱いとする。

第6条 クラス区分/規程

1. クラス

自然吸気および過給器付き車両について、次の4クラスに分けられる。

TSO 【加給器付きエンジン搭載のチューニング車両】 チューニングエンジン搭載・加給器の変更やブーストコントローラーの取付け ・Sタイヤ装着・安全燃料タンク/コレクタータンク搭載等へ該当する車両
NAO 【自然吸気エンジン搭載のチューニング車両】 ホンダ MTREC エンジン/チューニングエンジン搭載 ・Sタイヤ装着・安全燃料タンク/コレクタータンク搭載等へ該当する車両
TON 【過給機付きエンジン搭載&自然吸気エンジン搭載旧規格軽自動車のノーマル車両】
NSN 【自然吸気エンジン搭載のノーマル新規格車両】

2. 車両規定①(↓全クラス共通)

■ ボディ系

- ・国内で生産された軽自動車規格の車両で、排気量は660cc未満(オープンクラスを除く)であること。
- ・オープンカーで屋根をオープンにして走行する車両や、室内パネルの穴あけ加工等で強度が劣る車両についてはフロント4点式以上のロールケージの装着を義務付ける。
- ・給油口のカバーは、内側のキャップがしっかり閉まり、燃料漏れが無いことを条件に取り外すことができる。
- ・ボンネットの加工等を行う場合、走行中に浮き上がることが一切無いように装着すること。
- ・フロントガラスは純正と同じ合わせガラスを使用すること。サイドガラス/リアガラスについては透明で強度のあるアクリル板へのみ変更可能。穴あけについては、視界を妨げず、強度が落ちない範囲であれば加工を認める。
(インテークの取り付け可能。車体外部に取り付ける場合、全幅が変わらない範囲であること。)
- ・ガラスへの視界の妨げになるようなスモークフィルムやステッカーの貼り付けは禁止とする。
- ・外部ミラーは左右側面に取り付けられ、室内ミラーも含め機能していること。※エアロミラー使用可能。
- ・フェンダーの爪折り、叩き出し加工を認める。インナーフェンダーの取り外しも認める。
- ・過度の突起物パーツの取り付けや、車幅/全長を大きく超えるエアロパーツの装着は禁止とする。
- ・前後に牽引フックが装着されていること。スポイラー等で牽引フックの使用が困難な場合は、別途牽引フックを追加すること。前後のバンパー部分には牽引フックの位置を矢印「↓」にて表示すること。

■ エンジン系

- ・エンジンは排気量 660 cc未満(オープンクラスを除く)で車両と同一メーカーのエンジンであること。
- ・ラジエーターの変更、オイルクーラーの追加を認める。オイルクーラーは損傷しにくい場所に設置すること。
- ・ブローバイガスを空中排気する場合、排気量以上の容量がある金属製のオイルキャッチタンクを装備しオイルが飛散しないようにすること(2ℓ以上を推奨)。針金やテープでの簡易固定は禁止とする。

■ その他

- ・マフラー音量は **100db 以下** であること。直管マフラーの使用は制限音量以下であっても禁止とする。
- ・サスペンション、ブレーキ、駆動系の変更や補強は認めるが、強度が低下するような改造は認めない。
- ・ダッシュボードと運転席側ドアの内装は純正品を利用し、ロールバー取り付け加工以外の切除加工は認めない。
- ・ステアリングホイールの交換、パワーステアリングシステムの取り外しは自由とする。

- 運転席には 4 点式以上のシートベルトを装着すること。※ベルト基部は車体に確実に固定すること。
- 運転席のシートはバケットシートであることが望ましい。※フロアマットは取り外すこと。
- エアコン、カーペット、防音材、防振材、助手席、後部座席等安全上支障の無い部品の取り外しは認める。
- バッテリーの搭載位置の変更を認める。バッテリーの重量に耐えられる台を利用し確実に固定すること。室内へ引き入れる場合は箱型のカバーで覆いドライバーから隔離すること。※ドライババッテリーを除く。
- バッテリーターミナル(+)、ブレーキやクラッチのリザーバタンク等のキャップ類、全ての灯火類にはテーピングを施すこと。
- 油脂類の漏れ防止策を講ずること。レベルゲージの抜け防止策もあわせて講ずること。
- 灯火類とワイパーは正常に作動すること。※オープンクラスに限りヘッドライトは 1 灯でも可とする。
- ウインドウネットの装着は自由とするが、取り付けの際は **公式通知②** を確認し、装着すること。

車両規定② (↓TSO / NAOクラス) ※オープンクラス

■ エンジン系

- エンジンのチューニングとミッション、CPU の変更、機械式 LSD の装着が可能。

※TSO クラスのみ、加給器、アクチュエーター、ブーストコントローラーの取付け、変更、改造、ブースト圧の変更が可能。

■ 燃料タンク

- 無加工のノーマルタンクか 35ℓ 以下の安全燃料タンクを使用し、純正位置が荷室内に搭載すること。
- コレクタータンク (4ℓ まで) の使用を認める。(総給油量は 35ℓ 以内であること)
- 安全燃料タンクやコレクタータンクを荷室に設置した場合、アルミ板等の難燃性材質の隔壁を取り付けること。
- 燃料タンクの変更もしくはコレクタータンクを使用する車両には消火器の搭載を義務付ける。その場合、薬剤量 2kg 以上の ABC 粉末消火器を搭載すること。ドライバーが座ったまま手が届く位置に確実に取り付けること。

■ その他

- フロント 4 点式以上のロールケージの装着を義務付ける。運転席側ピラー部分には緩衝材を巻くこと。
- タイヤは市販の S タイヤとラジアルタイヤ (スポーツタイヤに限る) を使用可能。但し、フェンダー加工やオーバーフェンダーを装着してもはみ出すタイヤやホイールの使用は禁止とする。

車両規定③ (↓TON / NSNクラス) ※ノーマルクラス

■ エンジン系

- エンジン、ミッション、CPU はノーマルを使用すること。機械式 LSD の装着は不可とする。
- 加給器、アクチュエーターの変更 / 改造や NA 車への追加装着禁止。ブーストコントローラーの装着は不可。

■ 燃料タンク

- 無加工のノーマルタンクを使用し、純正位置に搭載されていること。
- コレクタータンクの使用禁止。

■ その他

- フロント 4 点式以上のロールケージの装着を推奨する。装着の際は運転席側ピラー部分に緩衝材を巻くこと。
- タイヤは市販のラジアルタイヤのみ使用可能。フェンダーよりはみ出さないこと。
- オーバーフェンダーやプリスターフェンダーの使用は禁止とする。

3. 安全装備

ドライバーは、次の物を着用すること。(全て燃えにくい素材であることが望ましい)

- ヘルメット (JIS 規格 C 種以上のフルフェイス型またはジェット型を推奨とする。)

- レーシングスーツまたは長袖長ズボン (怪我や火傷から身を守るよう厚手の生地が望ましい)

- グローブ (自動車の運転で指先まで覆うも) ※軍手不可
- シューズ (運転に適したもの)

第 7 条 参加受付

- レース当日、各チームの代表者は、定められた時間内に参加受付を完了させること。
- 参加受付をする際、ドライバー全員分の署名・捺印された「誓約書」を提出すること。
- 未成年者は、『未成年者誓約書』を提出すること。(提出が無い場合、参加ができない。)
- 申請済みの書類に変更がある場合は、参加受付時に修正済みの書類を提出すること。

第 8 条 ゼッケン

- 各チームにて作成し、ボンネット・左右側面・車両後部の最低 4 箇所に貼り付けること。
- ゼッケン番号は識別しやすい 書体・色・太さ であること。

第9条 計測器

- 参加受付時に計測器とホルダーを貸与する。※取り付け位置／方法は受付時に指示する。
 - 計測器とホルダーは、レース終了後速やかに受付まで返却すること。
- ※計測器を破損・紛失させた場合、弁償すること。《計測器 50,000 円／ホルダー2,000 円》

第10条 車両検査

- すべての参加車両は、定められた時間内に車両検査を受けなければならない。
- 検査の結果、不適当と判断された車両は、全ての走行への参加ができない場合がある。

第11条 ピット・パドックにおける遵守事項（※公式通知①参照）

- パドック内では指定された方向へのみ走行ができる。逆走は禁止とする。
- ピットロードは傾斜を利用し、発進時以外はアクセルを踏まずに惰性で進行すること。**（時速 20km 以下厳守）**
- ピットロード及びパドックではバックギアの使用は禁止とする。車両をバックさせる場合は周囲の安全に注意しながら人の手で押すこと。
- ドライバー交代エリアでは、ドライバー交代の他、ホイールナットのトルクチェック、タイヤのエアーチェック、窓拭き、軽微な修理のみ行える。作業が長時間となる場合や、その他の作業についてはピット内で行うこと。
- レース中にピットインした際は、必ずピット担当オフィシャルの前で一時停止すること。オフィシャルがタイムカードへ時刻の印字を行い、カードを手渡す。
- レース中、**「義務ピットイン」を4回以上行うこと。**
 - ※「義務ピットイン」とは、『ドライバー交代を行う行為』のこと。
 - ※ レッカー移動によるピットイン・赤旗提示後のピットイン・赤旗の原因となった車両のピットイン・黒旗やオレンジボール旗等競技長指示でのピットインの場合は「義務ピットイン」の回数には含まない。
 - ※ **燃料タンク容量が 25ℓ 以下の車両については、義務ピットイン回数が 1 回免除となる。（受付時に要申請）**
 - ※ 同じドライバーの継続乗車は義務ピットインとは認めない。必ず他のドライバーへ交代すること。
 - ※ **ドライバー1人の最低連続搭乗周回を5周以上とする。（5周に満たない場合、回数にはカウントしない。）**
- ピットアウトの際は、コースイン担当オフィシャルの指示に従いコースへ進入すること。

第12条 燃料給油 <ピット内での給油は禁止>

- 給油は、**給油エリア内で金属製携行缶からの自然落下でのみ行える。（マシンを傾けた状態での給油は禁止。）**
 - ※給油エリア以外での給油や給油可能時間帯以外の給油が発覚した場合、**失格とする。**
- 給油可能時間帯以外の給油は禁止とする。（レース終了後を除く。）
- 給油中は必ずエンジンを停止させ、給油エリア内では給油以外の作業が一切禁止となる。
- 各チーム、持参したガソリン携行缶をレース開始前までに1番ピット内へ保管すること。
- レース中の給油は、**消火担当スタッフが給油口へ消火器を構えてから行うこと。**（備え付けの消火器の使用可能。）
- レース中の給油は、給油担当者及び消火専用要員は耳まで覆うヘルメット、長袖、長ズボン、靴を着用すること。（腕まくり、裾まくり禁止。サンダル禁止。）
- レース中、**1回に給油できる量は 20ℓ 携行缶 1 缶のみとする。**
- レース中に給油を行う場合は、安全の為 **5分間の『給油タイム』**を義務付ける。
- **漏れたガソリンは確実に拭き取り、地面にこぼれた場合はオイル処理剤による処理を確実に行うこと。**
- ドライバー交代や作業を行う場合は各指定場所へ移動後に行うこと。

第13条 走行における遵守事項

- シートベルト／ヘルメットの顎紐を確実に締め、グローブ等を着用し、運転席の窓は全閉にして走行すること。
 - ※ウインドウネット装着の場合は、窓の開閉は自由。
- **タイヤウォーマーの使用、ジャッキアップをしての暖気は禁止とする。**
- クラッシュやトラブルによりコース内で停止する場合、やむを得ない場合を除き、走行ライン上やコーナー付近を避け、ハザードランプを点灯させた上で安全な場所で停止し、オフィシャルの指示があるまで安全装備を外したり降車したりせず車内で待機すること。但し、火災等緊急時はすぐに降車し、安全な場所へ避難すること。
- やむを得ずコースを外れた場合は、減速し、安全を確認した後にコースへ復帰することができる。
- コース内でクラッシュやトラブルにより走行不能となった車両は、パドック内専用エリアまでレッカー移動される。（レース中の場合、義務ピットイン回数には含まない）
- クラッシュやレッカー移動でピットインした車両に関しては、車両の修復後、オフィシャルスタッフによる車両チェックを受け、再走行の許可が下りればコースインが可能となる。

↓全ポスト／信号での表示

-  緑（旗・信号） … 走行開始。レース開始・再開の合図。黄旗区間の解除。
-  黄（旗・信号） … 前方に停止車両や落下物等何らかの危険あり。減速。追い越し禁止。
-  赤（旗・信号） … 競技の中断。追い越し禁止。決勝レース以外の走行時はピットへ戻ること。

↓メインポストのみでの表示

-  青旗 … 周回遅れの車両に後ろからより周回を重ねていてタイムも速い車両が接近していることを示す旗。
レース中、表示の必要がある場合のみ使用される。この旗を振られた車両は直ちに進路を譲ること。

-  チェッカー旗 … 競技の終了。終了後は徐行し追い越し禁止。

-  オイル旗 … 路面が急激に滑りやすい状況になったことを知らせる旗。追い越しは可能。（不動表示）

-  黒旗 … 他のマシンへの妨害行為や危険行為とみなされる規則違反を行ったことを示す。（不動表示）
表示されたゼッケンの車両は直ちにピットインすること。違反内容によっては罰則も与えられる。

-  オレンジボール旗 … 車両に何らかのメカニカルトラブルを抱えていることを示す。（不動表示）
表示されたゼッケンの車両は3周以内にピットインすること。

-  SC ボード … SC 導入の合図。全有人ポストで黄旗が振られフルコースコーションとなる。

-  ゼッケンボード … ゼッケン番号が表示される。

※その他、違反車両へのみ出される「窓閉めて」や「服装チェック」のボードがある。

第21条 罰則（ペナルティー）及び抗議 ※ペナルティーは決勝のみ対象となる。

- 違反行為をオフィシャルスタッフに確認された場合のみ、チームには以下のペナルティーが科される。

1) 警告のみ

- ・窓開け走行（ウインドウネット非装着車で運転席の窓を開けたまま走行している当該車両）
- ・走行時の服装違反（腕まくり、裾まくり、グローブ未着用等）

※メインポストから警告ボードにて指示を出す。3周以内に改善させた場合は警告のみとする。

3周以内に改善されない場合と、同一車両による違反の場合、1周減算とする。

※これらの指示によりピットインした場合、義務ピットイン回数にはカウントされない。

2) 決勝結果から1周減算

- ・スタート進行時、グリッド上、パドックでの諸違反
- ・反則スタート（フライング等）
- ・コースのショートカット
- ・黄旗区間での違反（追越しやスピン等）
- ・危険運転（スピンやコースアウト後の強引なコース復帰やコース横断等）
- ・ブロッキング（上位車両の追い越しを妨害する行為）
- ・ピットロードおよびピットエリアでのバックギアの使用
- ・ダブルチェッカー

3) 決勝結果から2周減算

- ・指示の無いSCの追越し、追抜き
- ・給油エリアでの作業違反と安全義務違反
- ・ピットロードおよびパドックでの速度違反と作業違反

4) 決勝結果から5周減算

- ・給油タイム（5分間ストップ義務）違反
- ・義務ピットイン（ドライバー交代）回数不足
- ・赤旗時（決勝中）にピットインした上で何らかの作業を行った場合

5) 決勝結果から10周減算

- ・衝突行為（状況に関係無く、相手車両が横転する原因となる衝突を起こした当該車両）

6) 失格

- ・給油エリア以外での給油や給油可能時間帯以外の給油
- ・故意による衝突行為や妨害行為、暴言を吐く等悪質なマナー違反
- ・指定場所以外での喫煙／火気の使用やドライバーの飲酒、参加申込をしていない者の走行

※最終シケイン進入での追越し追抜きは危険運転としてペナルティーが科される。

※その他、違反行為によって罰則が適用される場合がある。

- 本大会においての抗議は受け付けない。（参考意見として問題点や提案があった場合はお聞かせ下さい。）
車両破損やトラブルに対するクレーム、保証の請求も一切受け付けない。

第22条 賞典・シリーズポイント・シリーズチャンピオン

■ レース賞典

- 各戦の表彰はクラス毎に行われ、記念品と副賞が贈呈される。
- 各クラスの優勝チームは、次戦の参加枠が保障される。

■ 賞典の制限

賞典は各クラスの参加台数によって制限される。(参加が1台の場合は、表彰は行わない。)

各クラスの参加台数が2台もしくは3台の場合	1位のみ
各クラスの参加台数が4台の場合	2位まで
各クラスの参加台数が5台以上7台以下の場合	3位まで
各クラスの参加台数が8台以上の場合	4位まで

■ シリーズポイント

シリーズの表彰はクラス毎、年間の獲得ポイントで争われる。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
ポイント	20P	17P	14P	11P	8P	5P	3P	1P

シリーズポイントはクラス毎で上位から順に与えられる。(参加台数が3台に満たないクラスには付与しない。)

- ポイントはゼッケン番号により管理される。車両を変更してもゼッケン番号が同一であればポイントを継続できる。ただし、クラス変更の場合はポイントの継続はできない。
- ポイントは完走したチームにのみ与えられ、リタイアした場合ノーポイントとなる。
- 予選で各クラスの最上位を獲得したチームに**+2ポイント**を与える。
- 各クラス内で最多ポイントを獲得したチームをクラスチャンピオンとする。

(同点の場合は、上位入賞回数の多いチームをクラスチャンピオンとする。)

■ シリーズチャンピオン

シリーズ3戦の決勝レースでの総合周回数が最多のチームをシリーズチャンピオンとする。

(同周回の場合は、上位入賞回数の多いチームをシリーズチャンピオンとする。)

第23条 ハンディキャップ

- 20歳未満・学生・60歳以上・女性のドライバーが参加する場合、+1周のハンデを与える。

※1チーム最大+3周まで。(当日受付時に該当者本人が身分証明書等を持参し申請すること。)

- 第1戦と第2戦でクラス優勝したチームには、次戦にて-1周のハンデを科す。

第24条 参加者の遵守事項と注意事項

- すべての参加者はオフィシャルの指示に従うこと。
- すべての参加者は常に安全の確保を留意すること。
- 本大会は特殊なバドックレイアウトとなる。参加者やチーム関係者によるピットロードへの飛び出し等、危険な行為が発覚した場合、当該チームに対しペナルティーを科す場合がある。
- 他の参加者に対し罵声を浴びせる行為や、大声で騒ぐような行為を禁止とする。
- サインボードエリアでの傘(日傘含む)の使用は禁止とする。
- ピット内のコンセントは車両整備にのみ使用可能。電気ポットやストーブ等の家電製品への使用は禁止とする。
- 不明な点がある場合は、開催日までに主催者に質問し解決すること。
- 【喫煙所】以外の場所での喫煙や火気の使用は一切禁止とする。
- 著しくルール、マナーを守れないチームには今後の出場を拒否することとなる。
- 本大会規則は予告無く変更される場合がある。

車検については、設備や時間の都合上『全て』を確認することはできません。

見えない部分に関しては、皆様の良識にお任せすることになっていきます。

“見つからなければ大丈夫”という考えではなく、各クラス、ルールを遵守していただき、

その範囲内でレースが楽しく行えることを前提となるようお願いできればと思います。


HERO SINOI CIRCUIT

ver.0 2017.12.22 発行